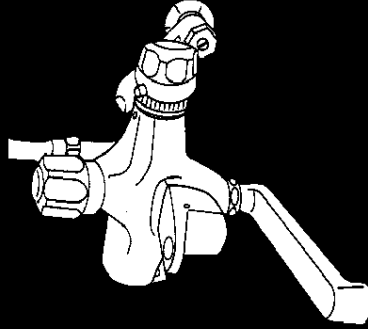


## 自閉式サーモスタット シャワーバス金具・混合栓

# TOTO

## ご愛用のしおり

- このたびは、**TOTO** 自閉式サーモスタットシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。



### もくじ

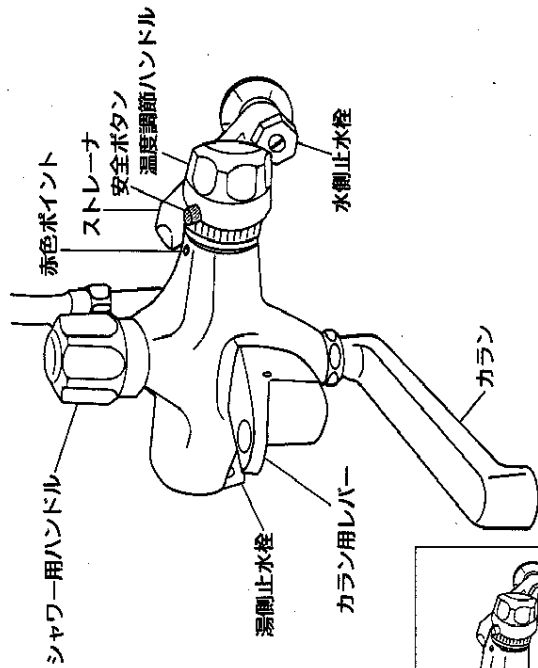
特長・各部のなまえ	1～2
つかいかた	3～4
使用上の注意	5～6
ストレーナ及び自閉弁の掃除	7
温度調節のしかた	8
吐水量の調節のしかた	9
手入れのしかた	9
故障したときは	10

## 特長・各部のなまえ

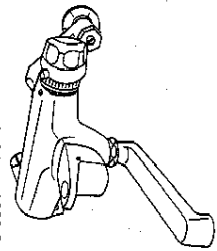
1. カラン用レバーを押すだけでカラン側より一定量吐水し、自動的に止水する自閉弁を内蔵しています。
2. カラン側が自動的に止水するので節水省エネに役立ちます。
3. カラン側吐水量の調節が簡単にできる吐水量調節ねじを付けています。
4. 混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても温度変化はありません。
5. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。

### 一般用

TM745C  
TM745CM  
(マッサー・ジシャワー付)



TM745A

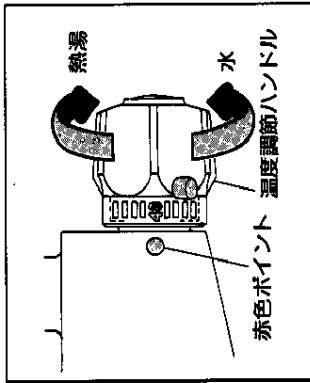


付 属 工 具	数
ストレーナ押え開閉工具	1

6. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので誤って熱湯を出すことはありません。
7. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを付けています。
8. 圧力調整や内部の分解・洗浄に便利な、止水栓を付けています。
9. 機能部がカートリッジ式になっているので、内部の分解・点検が簡単に行えます。

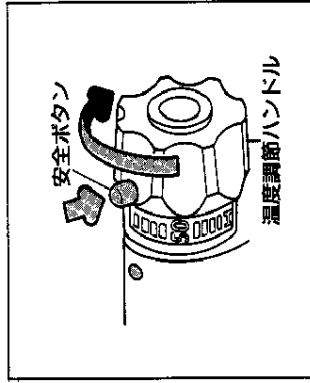
# つかいかた

## 1. 温度調節



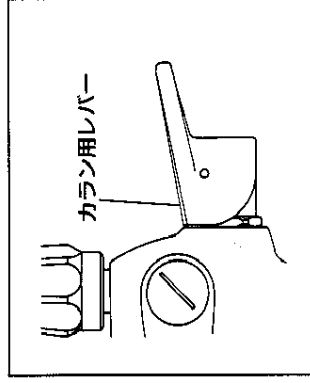
温度調節ハンドルを回してお望みのダイヤルを赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

## 2. 安全ボタン



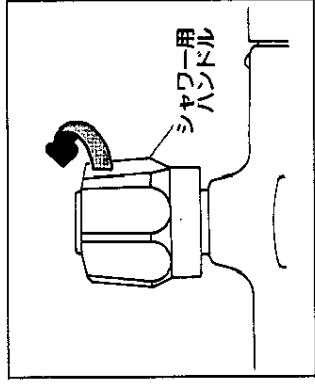
温度調節ハンドルには誤まって熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛"40"付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛"40"以下に戻してください。

## 3. カラン吐水



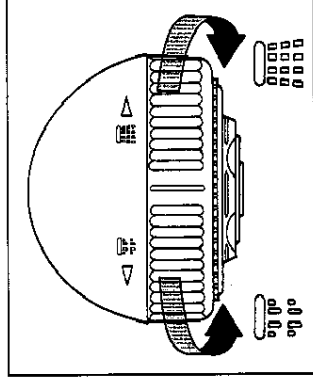
カラン用レバーを手で押して離すとカランから一定量吐水し自動的に止水します。

## 4. シャワー吐水(シャワーバス金具の場合)



シャワー用ハンドルを左に回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

## 5. シャワー切替(マッサージシャワー付の場合)

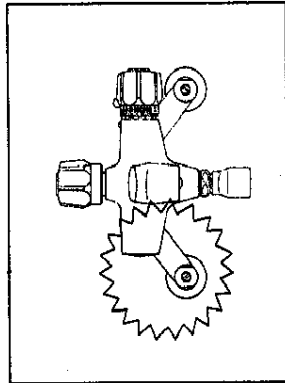


切替リングを左へ回すとマッサージ(断続)吐水し、右へ回すとシャワー(連続)吐水します。

# 使用上の注意

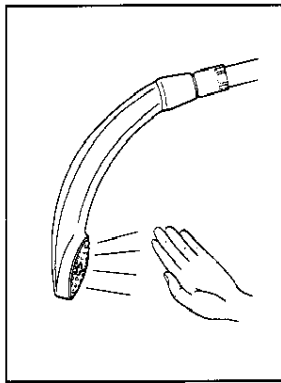
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

## 1. 火傷に注意



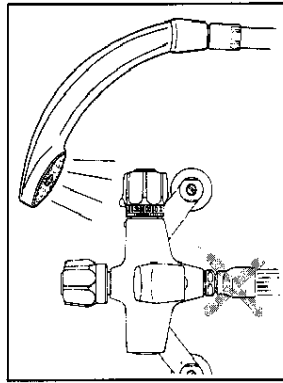
器具の左側は給湯機のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を流し、高温の残水を流しておいてください。

## 2. 使用前に湯温を確かめる(シャワーバス金具の場合)



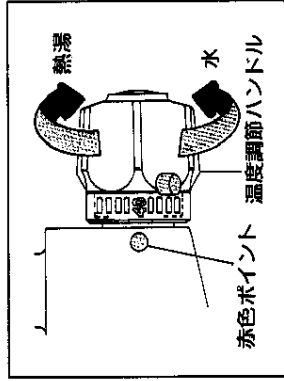
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

## 3. シャワー使用時には、カラン側を使用しない(シャワーバス金具の場合)



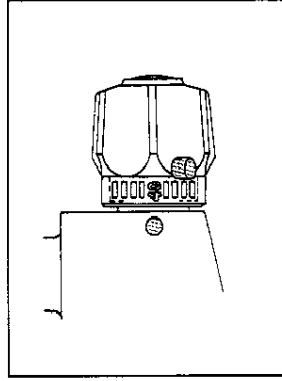
シャワー側を使用中、同時にカラン側から吐水させた場合にはシャワーの湯温が若干変わることがあります。シャワー使用時には、カラン用レバーを押さないでください。

## 4. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。急に回しますと温度があがりすぎる場合があります。

## 5. 温度調節ハンドルは"40"以下にする



熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを"40"以下に戻してください。

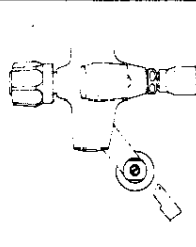
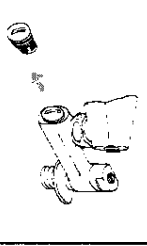
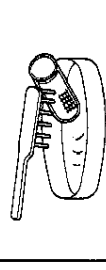
(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

## 給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますのでハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げてください。
  - ・給水圧力が低いとき
  - ・水温が高いとき

# ストレーナ及び自閉弁の掃除

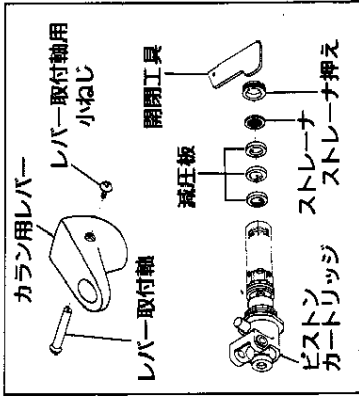
● ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなると十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領で掃除してください。

1. 付属の閉閉工具で止水栓を閉じてください。
2. 閉閉工具又はドライバでストレーナをゆるめてください。
3. ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまごみを取り除いてください。

● 自閉弁のストレーナおよび減圧板がつまると吐水量が多くなったり、流れ放しになるなど十分な機能が発揮されなくなります。掃除する場合は次の要領で掃除してください。

- 1) 止水栓を閉じる。
- 2) レバー取付軸をドライバで固定し、レバー取付軸用小ねじをドライバでゆるめてカラ管用レバーを外す。
- 3) ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。
- 4) ストレーナ押えを付属の開閉工具でゆるめて取出す。
- 5) ストレーナを取り出し網目につまごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。
- 6) 減圧板を取り出し裁縫針などの針先で小穴をついて掃除する。

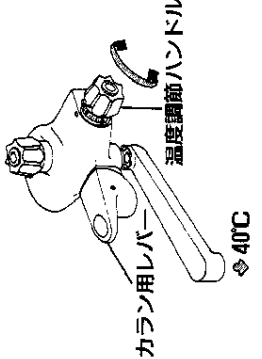
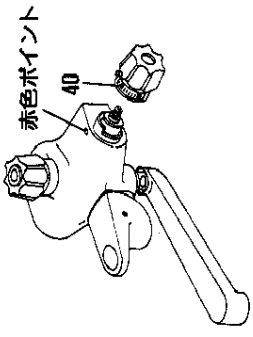
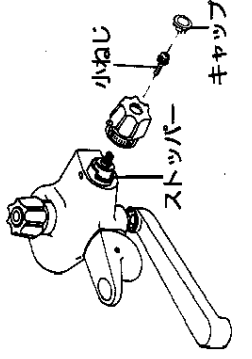
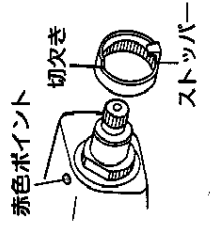
注：減圧板は3枚使用しています。組立の際は必ず3枚とも組込んでください。(小穴の方向性はありません)  
注：組立の際はストレーナ押え・ピストンカートリッジ及びレバー取付軸用小ねじがゆるまらぬように十分に締付けてください。



# 温度調節のしかた

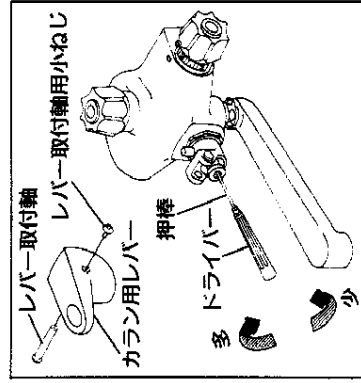
ダイヤル通りのお湯が出なくなった場合は、次の要領で温度調節してください。

- 調節する前に
  - a) ストレーナのごみづまりはないか確かめる。
  - b) 止水栓が全開しているか確かめる。
  - c) 十分な温度(使用する温度より10℃以上)のお湯がきているか確かめる。

<p>1. カラ管用レバーを押し、温度調節ハンドルの目盛に関係なく40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。</p>  <p>カラ管用レバー 温度調節ハンドル ◆ 40℃</p>	<p>3. 温度調節ハンドルの“40”の文字と赤色ポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。</p>  <p>赤色ポイント</p>
<p>2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。</p>  <p>小ねじ キャップ ストッパー</p>	<p>注) 温度調節ハンドルを抜きとると、ストッパーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。</p>  <p>赤色ポイント 切欠き ストッパー</p>

# 吐水量の調節のしかた

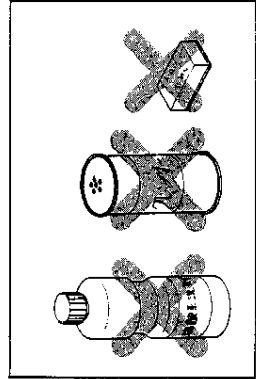
カランの吐水量を調節する場合は次の要領で行なってください。



- 1) レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラ管用レバーを取出す。
- 2) 吐水量調節ねじをドライバーで回転させて適当に調節する。  
右回転……多くなる  
左回転……少くなる
- 3) 押棒を押して吐水量を確かめる。
- 4) 調節が終わったらカラ管用レバーを固定しレバー取付軸用小ねじがゆるまないよう十分に締付けてください。

# 手入れのしかた

めっさされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっさを傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっさを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を十分水洗いしてください。

# 故障したときは

故障の修理は取付工事店にご依頼ください。なお不明な点がございましたらもよりの当社支社・営業所にお問合わせください。

# 修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検項目	点検項目
■シャワーの吐水量が少ない	① ②	① 止水栓は全開されているか。 ② ストレーナの目づまりはないか。 ③ 温度調節は適当か。
■カランの吐水量が少ない	① ② ⑤ ⑦	④ 自閉弁のストレーナの目づまりはないか。
■カランの吐水量が多い	④ ⑤ ⑥	⑤ 減圧板の目づまりはないか。 ⑥ 吐水量調節ねじの調節はされているか。
■カランの吐水時間が長い	④ ⑤ ⑥	⑦ ストレーナ押えはゆるんでいないか。 ⑧ レバー取付軸用小ねじはゆるんでいないか。
■カランの止水不良	④ ⑤	
■高温が出ない	① ② ③	
■低温が出ない	① ② ③	
■ダイヤル通りのお湯が出ない	① ② ③	
■カラ管用レバーがガタつく	⑤	

※点検方法は「ストレーナ及び自閉弁の掃除」、「温度調節のしかた」、「吐水量の調節のしかた」の項を参照ください。